

# 練馬二通信

No. 336

平成 26 年 12 月  
練馬第二小学校  
校長 岸 久雄

## いつも大切にすること

校長 岸 久雄

「泣いて笑って キラキラ輝き 楽しんで 最高の学芸会」は児童会でつくった学芸会のスローガンです。昨日と今日行いました。学芸会には、多くの方々のご参観をいただきありがとうございました。子供たちの一生懸命の演技から、このスローガンが達成できたことを確かめられたかと思えます。三週間以上も前から練習に取り組み、本番を終えて多くの子供たちは、満足感や達成感を味わうことができたかと思えます。九月の運動会、十月末の全校遠足、そして学芸会と大きな行事を通して、子供たちは確実に成長していることを保護者や地域の方々と確かめ合えることができたのではないのでしょうか。これからも、子供たちのがんばりやよい点を認め、励まし、さらにより子供たちに育てていきたいと思えます。

十二月十日は、世界人権デーです。昭和二十三年に国連で世界人権宣言が採択された日を記念してもうけられたものです。日本では十二月四日から十日までの一週間を人権週間として、人権にかかわる様々な行事が行われます。私も、毎年このときに朝会で人権についての話をするようにしています。人権を尊重することは教育の基本であり、目標でもあります。入学式を終えた一年生が、教室で隣の席に座った子と仲良しになつていくことをはじめに、学級や学年、他学年の友達とのかかわりや日々の学習の中から、自分や友達を大切にすることや心を育つてくることなどが学校の役割だと思えます。いじめや暴力、無視は人権を大切にすることに反する行為です。「みんなと一緒にだと楽しい。」「いつでもみんな

なの笑顔が光っている。」どの子どもこのようなことを感じている学校をつくっていききたいと思えます。

世の中に目を向けると、戦争やテロ、貧困や飢餓など、人権が踏みこじられていることや大切にされていないことがたくさん起きています。日本の国内にも偏見や差別がまだまだなくなつていません。人権を大切にすることは、私たちが生きている間の目標であり日々努力することであるとあります。学校だけでなく、いつでもどこでもだれもが人権を大切する心をもたなければならぬと思えます。

平成二十六年もあと一月で終えようとしています。今年も子供たちが明るく元気に学校生活を送れたことは、保護者の皆様をはじめ、多くの方々のお力だと思っております。ありがとうございました。友達を思いやるやさしい心をもった練馬二小の子供たちが希望に満ちた新年を迎えられることを願っています。



## 十二月の行事予定

- 1 (月) 振替休業日
- 2 (火) 個人面談・五時間授業  
連合音楽鑑賞教室(六年)
- 3 (水) 午前授業(教育会一斉研究日)
- 4 (木) 個人面談・五時間授業・社会科見学(三年)
- 5 (金) 個人面談・五時間授業
- 8 (月) 委員会活動
- 9 (火) 個人面談・五時間授業
- 10 (水) 午前授業(研究授業・四―二)
- 11 (木) 個人面談・五時間授業
- 12 (金) 避難訓練
- 13 (土) もちつき大会(二、三校時公開)
- 15 (月) お話の会・クラブ活動
- 16 (火) お話の会
- 17 (水) ユニセフ期間(19日)  
ユニセフ出張授業(六年)  
東京ガス出張授業(五年)
- 18 (木) 社会科見学(四年)
- 22 (月) クラブ活動
- 24 (水) 社会科見学(六年)
- 25 (木) 五時間授業・給食(終)
- 26 (金) 冬季休業日始
- ※1月7日(水) 冬季休業日終
- 8日(木) 給食始・午前授業(二―四年)  
委員会活動(五校時)



### ★今月の生活目標

・みんなで使うものを大切にしよう。

### ★週の生活目標

・遊び道具など使ったものの後始末をきちんとする。

・そっじや給食の後始末をきちんとする。

## ユニセフ募金について

特別活動主任 柳井 裕美

今年度もユニセフ期間を設定し、様々な取り組みをします。昨年度、ユニセフ期間に集めた募金を代表委員会で大切に集計していたときに、「このおかねをせいかい」のこともたちのためにつかったださい」というお手紙が入っていて、練二小の子供たちの優しさに胸を打たれたことを思い出します。世界で起こっている出来事に目を向け、ユニセフ活動を身近なものとしてとらえ、互いに助け合う心を育てていきたいと思えます。

十二月十七日(水)には、代表委員の児童が、ユニセフ集会を行います。代表委員会で話し合い、パワーポイントを使って全校児童でユニセフについて発表することに決めました。

十二月十八日(木)と十二月十九日(金)の朝の時間に中央昇降口と東昇降口で代表委員の児童による募金活動を行います。また、子供たちは各学級で、ビデオ教材やリーフレットからユニセフの活動や様々な国の状況について学びます。

日本の未来を担う練二小の子供たちにとって、平和や国際協力について考える一つの機会になるとよいと願っています。ご協力をお願いいたします。

## 図工室から

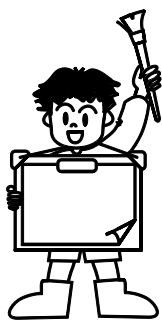
図工担任 佐藤 千紘

図工の授業が始まり、もうすぐ九月になります。春にはドキドキしながら図工室に来ていた一年生も、今では学習にすっかり慣れ、一生懸命作品作りに取り組んでいます。

今年度も一月に練馬区立美術館で開かれる連合図工展では、一年生から六年生までの代表児童の作品が展示されます。会期中には、全学年が鑑賞をしに行きます。この鑑賞の学習を通して、作品や材料の良さ、美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、これからの学習への更なる意欲につなげていきます。

### 〈連合図工展について〉

一月十七日(土)から二十二日(木)正午まで練馬区立美術館二階第一第二展示室に練馬区立小学校連合図工展が開催されます。「しなやかさと豊かさの造形へ」をテーマに、区内全小学校の代表児童の作品が展示されます。



## 総合的な学習の時間について

三年担任 静 雅代

三年生の総合的な学習の時間では、「自分の力で課題を見つけ、解決すること」を最大の目標としています。これまでに「生き物の秘密」について調べました。最初は、植物について調べ、個人でポスターや新聞などにまとめました。次に、トンボ、バッタ、チョウ、カブトムシ、アリ、ハチの中から昆虫を選び、テーマを決めて、様々な方法で調べました。さらに、同じ昆虫同士でお互いに調べたことをグループで模造紙や紙芝居にまとめ、発表を行いました。身近な生き物でありながら、あまりよく知らないことに気付くことができました。そして、調べたことをまとめ、発表の仕方を工夫することができました。

さて、三年生は今年も「もちつき大会」に向けて、調べ学習を進めています。「もち」について、自分で調べてみたい課題を設定し、資料を見つけてまとめます。また、地域に伝わる貫井囃子も体験しました。もちつき大会当日は、今までの学習の成果を披露します。

総合的な学習の時間を通して、どの子ども主体的な態度で、課題を解決するための学び方や考え方を身につけさせていきたいと思っています。

## 冬休みを迎えるにあたって

生活指導主任 神谷 文子

子供たちが楽しみにしている冬休みが近づいています。短い休みではありますが、新しい年を迎えるにあたり、次のことについてご家庭で話し合い、安全に、また有意義に過ごしていただきたいと思えます。

### ①家族の一員としての自覚

家事を手伝う、お正月等の挨拶をしつかりするなど、年末年始の計画をいっしょに話し合しましょう。

### ②規則正しい生活

早寝・早起きをしつかりさせ、健康に過ごせるよう、ご家庭の約束をつくりましょう。

### ③お金の使い方

お年玉など高額なお金を手にする事が多い時期です。恐喝などの犯罪や、お金のトラブルに巻き込まれないよう、また計画的な使い方ができるような気を付けさせましょう。

### ④交通安全

年末年始は、特に交通事故にご注意ください。特に自転車の飛び出しによる事故には、十分気を付けさせてください。

### ⑤不審者等の被害の防止

区内でも、不審者の情報が寄せられています。また連れ去りによる事件も心配される場所です。暗くなったら、子供だけの外出は控えさせるなど、被害防止にご配慮ください。外出時には、**防犯ブザー**を着用させてください。

後日配付の「冬休みの生活について」も参照し、楽しい冬休みを過ごせるようにご協力お願いします。

